

令和6年2月19日、西牧大使はナミビア西部、エロンゴ州にある大規模な露天掘り鉱山、ウイス鉱山を訪問しました。ウイス鉱山はナミビア最大級のスズ埋蔵量を誇り、推定埋蔵量は6,000万トンとされています。同鉱山は、ロンドン証券取引所（LSE）及びナミビア証券取引所（NSX）の新興ベンチャー企業向け市場（AIM）に上場しているアンドラダ・マイニング社（Andrada Mining Ltd）が所有しており、現在のスズ生産にリチウムとタンタルの抽出を加えてハイテク鉱物のポートフォリオを拡大しています。



写真1：ウイス鉱山の坑口展望台にて、現場作業員（左）から露天掘り坑内での活動について説明を受ける西牧大使（手前）



写真2：スズ・タンタル工場のシウェダ監督から、処理プラントに関する説明を受ける西牧大使（右）

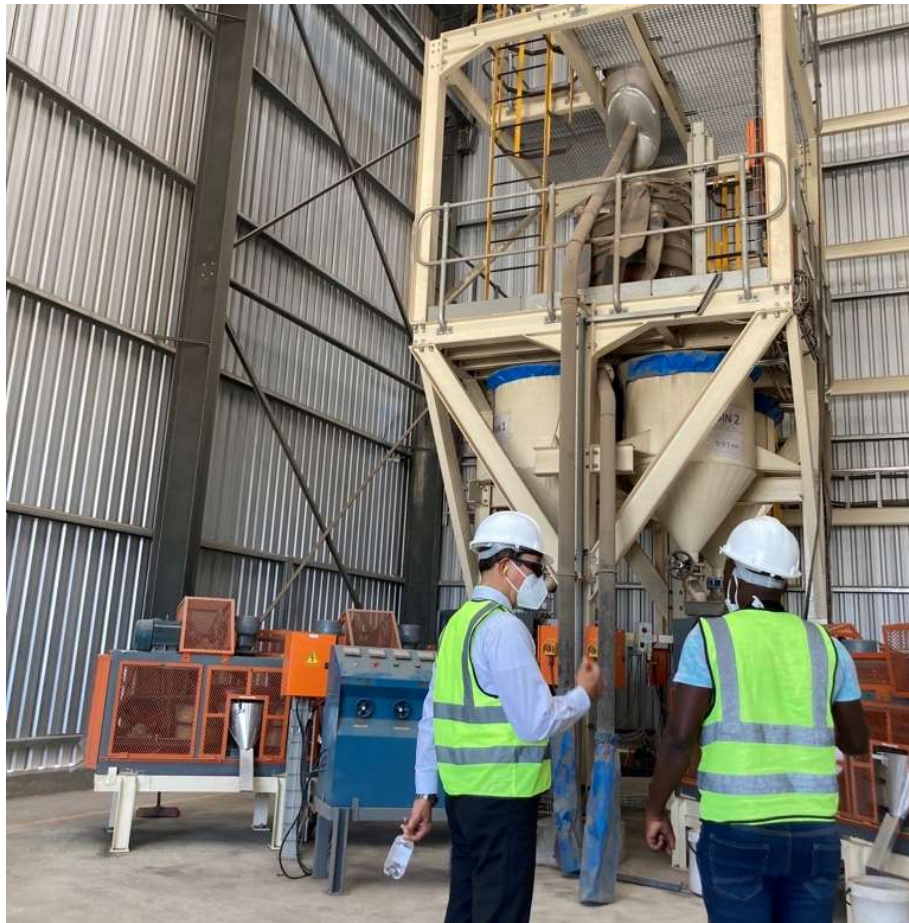


写真 3：湿式高強度磁気分離機の前で話を聞く西牧大使（左）。



写真 4：湿式高強度磁気分離機から出てくるスズとタンタルを見学する西牧大使



写真5：リチウム工場のムペタミ監督からリチウム加工パイロット工場を案内される西牧大使（左）



写真6：ペタライト精鉱を詳しく観察する西牧大使